

## 「総合教育機構」年報 創刊の辞

鹿児島大学総合教育機構長 清原 貞夫

この年報は、2017年4月に発足した「総合教育機構」と、それを構成する4つのセンターの活動を広く社会に公開するために刊行し、改めて使命と状況を紹介します。

鹿児島大学の使命は、南九州及び南西諸島域の活性化の拠点として、地域課題の解決に果敢に取り組む人材を育成することです。具体的には地域特有の課題をさぐり発見し、その解決策を論理的に考案して、さらに解決のため能動的に取り組む学士を育成することにあります。



以上の方針に基づき、第3期中期目標期間における重点的取組「南九州及び南西諸島域（島嶼・へき地）の活性化に貢献する人材の育成」では、教育の質を全学的に保証するための全教員組織である「学術研究院」を実質化し、人材の有効活躍を可能にする仕組みを構築しました。その上で、共通教育の実質化と高度化、及び学士の質向上を目指し、地域人材育成の司令塔として「総合教育機構」を設置しました。その具体的な取組内容は、学部教育に繋がる共通教育の体系的カリキュラム構築、客観的成績評価方法の確立、学習過程の可視化、単位の実質化、学部横断的な地域人材育成であります。特に高大接続としての初年時教育の実施は、大学教育を受ける基本的なスキルを身につけると同時に、学生が在学中に質と量を伴った学習時間を確保する上で大変重要であります。

「総合教育機構」は、高等教育研究開発センター、共通教育センター、アドミッションセンター、グローバルセンターからなり、2018年4月には総勢50名を超える教員組織になり、大学全体の教育の人的資源が減少される中でのこの人員強化を伴う「総合教育機構」の設立は鹿児島大学の近年における最大の組織改革であり、学内はもとより学外からも注目されています。

総合教育機構の使命は明確ですがそれを実現することは容易ではありません。今後各構成員は、個人、所属するセンター、機構全体での役割を理解し、試行錯誤を繰り返しながら本学独自の教育システムを作り出し、優秀で意欲ある学士を育てるべく引き続き努力する所存です。

最後に、年報の作成にご協力いただいた皆様に、心よりお礼を申し上げます。